Aoyama Business School 2024

ABS Information

青山ビジネススクール入学案内

ABS
Aoyama Business School

A B S
Aoyama Business School

CONTENTS

ミッション／研究科長挨拶／3つのポリシー - 1
アドバンテージ - 2
青山アクション・ラーニング - 6
カリキュラム - 18
履修モデル - 19
科目紹介 - 20
創造的リーダーへの道筋／コース・授業時間 - 22
サポートプログラム - 24
授業外の学習機会 - 25
寄附講座 - 26
産学・社会連携活動 - 28
国際認証 - 29
グローバルネットワーク - 30
在学生の活動 - 32
創造的リーダー - 33
キャリアデザイン - 34
クリエイティブ活動 - 36
ABSライフ - 37
新図書館棟 - 38
修了後の学習機会 - 40
同窓会 - 41
学生プロフィール - 42
博士課程 - 43
専任教員紹介 - 44
入試情報／学費・給付金・奨学金 - 46
アクセス・キャンパスマップ・お問い合せ先 - 47

Mission ミッション

青山ビジネススクール（ABS）は、キリスト教の教育理念に基づき、社会的責任を果たし、地球市民として活動する創造的リーダーの養成と、時代をリードする研究活動を通して、豊かな未来を切り拓くことに貢献する。

Message from the Dean 研究科長挨拶

ビジネススクールで学ぶということ

青山学院大学大学院
国際マネジメント研究科
研究科長 中里 宗敬

皆さんはどうしてビジネススクールで勉強しようと考えているのでしょうか。仕事をする上で自分の能力に限界を感じているからでしょうか。日々職務上で発生する問題に悩まされていて、もっと問題解決能力を身に着けたいからでしょうか。あるいは、自分は論理的な思考能力が弱いので、そこを補いたいと考えているからでしょうか。ABSに入学する学生の皆さんは、様々な問題意識を持ってやってきます。そうした目的や目標を持って勉学に向かうのはとても素晴らしいことです。しかし、もう一度、ビジネススクールで学ぶ目的を考えてみてください。そして、その目的が達成できれば本当に満足でしょうか。

ビジネススクールでは実践に役に立つ知識や能力を身に着けられるといいます。確かに、ABSの学びの中にもすぐに実務で役に立つ知識があります。しかし、得てしてそのような知識は5年もすると陳腐化してしまいがちです。すぐに役立つ知識はすぐに役立たなくなる知識でもあるのです。一方で、10年、20年経っても役に立つものもあります。それは、実務に根差し、アカデミックスに裏付けされた経営の理論や考え方です。そのような学びを得ることで皆さんの将来のキャリア形成の礎を今しっかりと築くこと、それこそがビジネススクールで学ぶことの本当の意味であると考えています。

ABSは社会人が学ぶ専門職大学院のビジネススクールとしては、日本で最も長い歴史を持っています。我々のミッションには、社会的責任（Social Responsibility）、地球市民（Global Citizen）、創造的リーダー（Creative Leader）の3つのキーワードがあります。このミッションは30年に及ぶ社会人大学院教育の歴史の中で、時代の要請に合わせて変化させてきたものです。ABSはこのミッションに則って課題の発見・解決に向け、主体性を持って多様な人々と協働できる能力を持つ人材の育成を目指しています。

2年間のビジネススクールの学びは決してたやすいものではありません。時には挫折しそうになるかもしれません。しかし、いつも隣には同じ志を持つ仲間がいます。お互いに励まし合い助け合うことで、一緒に前に向かって進んで行くことができるのです。ABSでは努力に見合うだけの価値を手に入れることができます。自らを成長させたいと真剣に考えるビジネスパーソンをABSは応援します。

Our Policies 3つのポリシー

青山ビジネススクール（国際マネジメント研究科国際マネジメント専攻、国際マネジメントサイエンス専攻）の**アドミッションポリシー、カリキュラムポリシー、ディプロマポリシー**は、青山学院大学ウェブサイトに掲載しています。

» 国際マネジメント専攻URL　https://www.aoyama.ac.jp/faculty/graduate_abs/management/policy.html
» 国際マネジメントサイエンス専攻URL　https://www.aoyama.ac.jp/faculty/graduate_abs/management_science/policy.html